



# 加古だより

加古小学校通信  
令和5年5月号  
No.5 (321号)

## 参観日、ありがとうございました！

校長 吉田 博明

### <やっぱり普通が一番！>

新型コロナウイルスも少し落ち着いてきた先月29日、今年度初めての参観日を実施しました。今回は制限を無くして、たくさんの人に来ていただけるようにしました。当日はとてもいい天気。暖かくて絶好の参観日日和になりました。

加古小学校の運動場が、久しぶりに車でいっぱいになります。どの車も、基準の車に合わせてスムーズに駐車していただきました。ありがとうございました。

そして校内へ入られるお家の方々の顔がみんな笑顔。「ああ、やってよかったな。」そう思いました。やっぱり、



子どもたちの頑張っている姿が見られるのは、とても幸せな気分になりますね。参観授業があるのは3時間目。業間になると、子どもたちがたくさん玄関に出てきて、お家の人を待っていました。「あ、あれうちの母ちゃんの車！」と叫ぶ声。子どもたちも、お家の方に見てもらうのが嬉しくて仕方ない様子でした。参観も、とても静かに見ていただきありがとうございました。



また、その後の引き渡し訓練も、とてもスムーズに行えました。ご協力感謝します。

### <1年生も頑張ってます>

小学校に入学して、やっと一か月がたった1年生。毎日登校班で、長い道のりを歩いてきます。今までと違って、給食を食べて、毎日5時間授業。勉強や掃除も頑張っています。本当は、お家の人と一緒にいたい思いもいっぱいあるはず。

先日、朝の登校指導を終えてふと見ると、1年生の子が花壇のそばにしゃがんで先生と話しています。どうしたのかな？と思い近づいてみると、学校へ行きたくないのだそう。先生はいろいろ話を聞きながら、教室へ行くように促しています。でもなかなか足が向きません。仕方がないので、私がグッと抱えて教室まで連れて行きました。それでもなかなか動けません。しばらく椅子に座って抱っこしていました。ずっと頑張っていたのかな。その間、お友だちが寄ってきて声をかけてくれたり、ポンポンと体を優しくたたいてくれたり。1年生のお友だちもみんなとても優しくビックリしました。少しすると、元気が出たのか自分で動き出し、朝の準備をすることができました。

そういえば、去年の1年生も今頃玄関で座り込んでいる人がいたかと、思い出しました。こうやって、少しずつ新しい生活に慣れていきます。1年生も頑張っています。